

アルビレオ ウィンドアンサンブル

第9回 演奏会

保科洋の世界Ⅸ



指揮
保科洋
Cond. Hiroshi Hoshina

祝典舞曲 保科洋
Ceremonial Dance for Band

古風な小組曲 (2023年) 保科洋
An antique little suite

I Prelude II Air III Little March IV Fuga

「もののけ姫」セレクション 久石 譲
Selections from "Princes MONONOKE"

「ラピュタ」～キャッスル・イン・ザ・スカイ～
"LAPUTA" Castle in the Sky 久石 譲

古風なメヌエット M. ラベル
Menuet Antique Arr. 保科洋

ダフニスとクロエ 第2組曲 M. ラベル
Daphnis et Chloe Suite2 Arr. 保科洋

2024

2/12 (月・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)

三田市総合文化センター

郷の音ホール大ホール

〒669-1531 兵庫県三田市天神 1-3-1

郷の音ホールチケットセンター TEL : 079-559-8101

Ticket (全席自由)
(一般) ¥1,500
(高校生以下) ¥1,000

*未就学児のご入場はご遠慮ください。

- 発熱等、体調不良の症状がある方は、ご来場をお控えください。
- 会場内では「咳エチケット」、適切な手指消毒にご協力ください。

■ 主催 / アルビレオ ウィンドアンサンブル ■ 後援 / 三田市教育委員会・三田市吹奏楽連盟・兵庫県吹奏楽連盟

(お問い合わせ) アルビレオウィンドアンサンブル事務局 メールアドレス takaotp@yahoo.co.jp ホームページ <https://albiro-wind-ensemble.jimdosite.com/>

ALBIREO WIND ENSEMBLE 9th CONCERT

指揮 保科 洋



1960年、東京芸術大学作曲科卒業。卒業作品にて第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)第1位を受賞。1963年、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、1982年、国立兵庫教育大学着任。2001年、同大学を退官。同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広く、特に吹奏楽では日本を代表する作曲家で、1991年には日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を現存する作曲家では最初に受賞。

作品のいくつかはアメリカでも課題曲に登録されるなど世界各国で演奏され海外でも評価は高い。2008年には、ホルン協奏曲「巫女の舞」がイタリアのポルチア国際ホルンコンクール本選課題曲に選出。邦人作曲家の作品が管楽器の国際コンクールの本選課題曲に選ばれたのはこれが初めて。

また、2010年にヤマハ吹奏楽団の委嘱により初演された「復興」は、その後、吹奏楽コンクールでも多数の団体が演奏し、非常に人気の高い作品となっている。

全日本吹奏楽コンクール課題曲として、カンティレーナ(1976年度)、風紋(1987年度)、アルビレオ(1998年度)、インテルメッツォ(2017年度)が委嘱されている。

指揮活動も「フィルハーモニックウインズ浜松」や「シエナ・ウインドオーケストラ」をはじめ幅広く行っているが、特にアマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を50年以上の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団で活躍している。2017年からは、保科洋指揮法クリニックを兵庫県加東市で主催し、全国のスクールバンドや市民音楽団体指揮者にアマチュア演奏団体を指揮するための指揮法の指導を行っている。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価され、平成27(2015)年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与され、平成28(2016)年度には兵庫県から「文化功労章」が授与された。

2017年4月、脳出血により一時、左半身麻痺になるが、努力と情熱で奇跡的な回復をみせている。

2020年には「交響曲第3番」を作曲。最新作は「古風な小組曲」(2022年)。

兵庫教育大学名誉教授、浜松アクト音楽院吹奏楽部音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

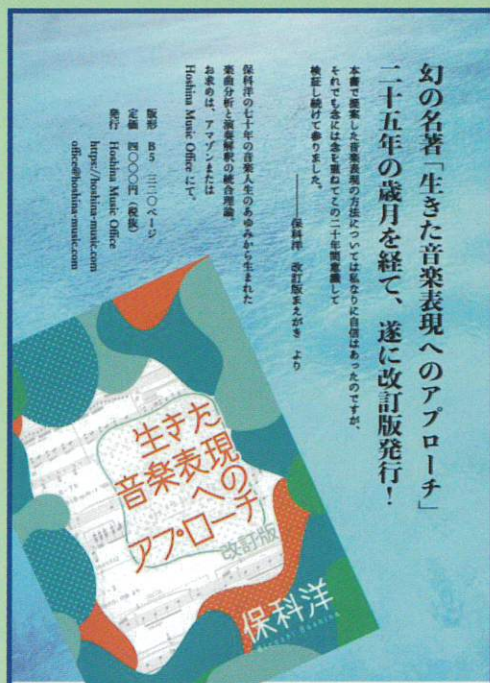
アルビレオ ウィンドアンサンブル

『アルビレオ』とは、白鳥座の連星(アルビレオ)にヒントを得て作曲された保科洋作品「アルビレオ」に由来しています。吹奏楽演奏において、保科洋氏の著書「エネルギー思考に基づく演奏解釈」の実現をめざし、2013年4月に結成。

メンバーは、一般アマチュア演奏家、プロ演奏者、小・中・高等学校・大学の教職員など幅広く、コアメンバー30余名で活動しています。2013年10月、デビューコンサートとして『加東2013音楽の日』にゲスト出演し好評を博しました。

2014年からは、定期的に三田市や阪神間などで演奏会を行っています。2016年、2017年、2018年、2022年には加東市の中学校吹奏楽部の皆さんとの交流演奏会として「アルビレオ ウィンドアンサンブル演奏会 in 東条」を開催しました。

また、毎年1月には東条コスミックホールで開催される「保科洋指揮法クリニック」のモデルバンドを務めています。



幻の名著「生きた音楽表現へのアプローチ」 25年の歳月を経て、遂に改訂版発行！

保科洋の七十年の音楽人生のあゆみから生まれた
楽曲分析と演奏解釈の統合理論。

お求めは、アマゾンまたは Hoshina Music Office にて。

版形 B5 320ページ
定価 4,000円(税別)
発行 Hoshina Music Office
<https://hoshina-music.com>
office@hoshina-music.com